

会報

謹んで新年のお慶びを申し上げます

防火管理

第92号

小千谷地域防火管理協会

会長 宮川 洋祐

副会長 丸山 謙一

副会長 伴 雅史

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

(2025年度 全国統一防火標語)



(雪さらし)

主な記事

- 1 防火管理協会会長ご挨拶
- 2 消防長ご挨拶
- 3 令和6年度優良会員等表彰

- 4 令和7年消防概況
- 5 本年度事業トピックス
- 6 設立60周年記念式典・祝賀会
- 7 最新消防車両紹介

年頭のご挨拶

小千谷地域防火管理協会

会長 宮川洋祐

(株式会社 魚沼電子 代表取締役社長)



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

日頃より当協会の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、当協会は昨年、昭和40年に設立以来、60周年を迎えることができました。この日を迎えたのも、先輩方のたゆまぬご努力と、会員各位のご理解とご協力のたまものです。改めまして感謝申し上げます。

近年、火災予防事業の推進により事業所火災並びに住宅火災は減少しておりますが、国内外では大規模な火災や自然災害による被害が頻繁に発生しております。とりわけ印象深いものとしては、昨年2月の岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災、11月の大分県大分市での大規模火災です。いずれも尊い命が奪われ、甚大な被害となりました。これらの火災は、些細なことから甚大な被害になりうると教えてくれたと思います。一人一人が防火に対しての意識を常に持つことで、防げる火災もあるはずです。当協会の活動はまさにその意識の醸成を図るものだと自負しております。

小千谷市消防本部管内における昨年の火災状況をお聞きしたところ、1年間の火災件数は12件と昨年より若干増加したものの、ほぼ横ばいを推移しております。これも、皆様の常日頃の防火意識の向上によるものと感謝申し上げます。

「自分の事業所は自分達で守る」という基本理念を確認し、日頃より、火災予防や防火知識の普及に努めていただきたいと思います。

近年、火災予防事業の推進により事業所火災並びに住宅火災は減少しておりますが、国内外では大規模な火災や自然災害による被害が頻繁に発生しております。とりわけ印象深いものとしては、昨年2月の岩手県大船渡市で発生した大規模な林野火災、11月の大分県大分市での大規模火災です。いずれも尊い命が奪われ、甚大な被害となりました。これらの火災は、些細なことから甚大な被害になりうると教えてくれたと思います。一人一人が防火に対しての意識を常に持つことで、防げる火災もあるはずです。当協会の活動はまさにその意識の醸成を図るものだと自負しております。

また、昨年に引き続き「わくわく消防教室」と致しまして地震体験車で認定こども園、保育園に赴き、地震の体験をしていただき好評を得ました。

当協会は、これらの活動を通じ幼少年防火クラブ、危険物安全協会、婦人防火クラブ、自主防災組織連絡協議会及び消防団並びに消防本部との連携を深め、管内住民の防火意識の普及、啓蒙に努めていきます。

会員の皆様におかれましては、今年の活動においても一層のご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様のご多幸を心より祈念し、年頭のご挨拶と致します。

新年のご挨拶

小千谷市消防本部

消防長 有馬 哲也

(小千谷地域防火管理協会 顧問)



る1年となりました。

小千谷市消防本部管内におきましては、昨年

年の火災件数は1件であり、近年の傾向と比較して大幅な増加こそ見られないものの、

一歩間違えば尊い生命や財産を脅かす事案は後を絶ちません。ひとたび火災が発生すれば、地域にもたらす影響は決して小さくなく、初期消火体制の強化、防火管理体制の点検、そして日頃からの危険予知の徹底が、より一層重要となつております。

また、救急出動件数は1,840件となり、前年をわずかに下回つたものの、地域の高齢化に伴い救急需要は依然として高い水準にあります。救急隊員による迅速かつ適切な活動に加え、市民の皆様による応急手当の普及や予防救急への理解・啓発は、地域の安全を確保するうえで欠くことのできない要素です。協会会員の皆様におかれましても、職場や地域における応急手当講習の推進や、健康管理意識の向上につきまして、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

平素より小千谷地域防火管理協会の皆様におかれましては、地域の防火・防災体制の充実に向け、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月の大船渡市における山林火災をはじめ、11月の大分市佐賀関地区における大規模火災など、全国各地で地域の安全を脅かす災害が相次ぎました。これらの事案は、防災に携わる私どもにとつて、その使命の重さを改めて認識す

支えていることを改めて申し添え、今後とも変わらぬご支援とご協力を願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げるとともに、本年が災害の少ない平穏な一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和6年度優良会員等表彰

防火管理について、他の模範となる優良
防火管理者、優良事業所等が表彰されま
した。



【優良防火管理者表彰】

防火管理者として、防火対象物の防火管
理を的確に遂行していること、消防計画に基
づく定期的な自衛消防訓練を熱心に実施
していることなどの功績により受賞されま
した。

(規則第4条第1項第1号該当)

○小千谷市 平沢

三陽工業株式会社

防火管理者 川上 豊 様

(写真 前列中央左側)

【優良事業所表彰】

消防用設備が適正に維持されていること、
職員の防火意識が高く、消防計画に基づく
定期的な自衛消防訓練を熱心に実施して
いることなどの功績により受賞されまし
た。

(規則第4条第1項第3号該当)

○小千谷市 山谷
株式会社サンフーズ横倉 様

(写真 前列中央右側)

【住宅防火モデル地区無火災表彰】

令和6年度の当管内の住宅防火モデル地
区として指定を受け、地域住民の防災意識
の高揚に努め、一年間の無火災を達成され
たことにより受賞されました。

(規則第4条第1項第4号該当)

○小千谷市

上ノ山 町内会 様

(写真 前列右側)

○長岡市川口地域

川口中山(竹田)町内会 様

(写真 前列左側)

○長岡市川口地域

川口木沢 町内会 様

川口峠 町内会 様



一 救急概況 (速報値)

◆ 救急出場件数 ※()内は前年数

出場全体	1,840件 (1,868件)
------	-----------------

小千谷市	1,625件 (1,644件)
川口地域	198件 (212件)
高速道路	16件 (12件)
その他 (管轄外)	1件 (0件)

◆ 事故種別

急病	1,127件 (1,216件)
一般負傷	312件 (282件)
交通	84件 (92件)
その他	317件 (278件)

火災	1件 (1件)
交通事故	13件 (16件)
機械による事故	0件 (2件)
水難	1件 (0件)
建物等による事故	6件 (5件)
ガス及び酸欠事故	0件 (1件)
その他	10件 (5件)

※その他には、山菜採り中の事故等が含まれます。

※その他には、転院搬送、労働災害、自損行為等が含まれます。

◎ 救急概況における傾向

救急出場件数は1,840件で、搬送人員は1,687名でした。前年と増減はほとんどありませんでした。一日平均で見ると、約5件出場し、約5名を搬送したことになります。

◎ 救助概況における傾向

救助出動件数31件のうち救助人員は20名でした。

交通事故による出動が13件で全体の約42%となりました。

一 救助概況 (速報値)

◆ 救助出動件数 ※()内は前年数

出動全体	31件 (30件)
------	-----------

小千谷市	24件 (24件)
川口地域	5件 (3件)
高速道路	2件 (3件)
その他 (管轄外)	0件 (0件)

令和7年度事業トピックス

住宅用火災警報器設置事業

小千谷市は城内、長岡市川口地域は東川口地区(川口1~7区)がそれぞれ「住宅防火モデル地区」の指定を受け、4月から火災予防に努めていただいております。当協会もモデル地区にのぼり旗や火災予防啓発マスクの配布等を行い、火災予防に協力しています。

住宅用火災警報器設置事業

春・秋の火災予防運動の実施に伴い、小千谷市社会福祉協議会、消防団女性部、東北電力株式会社と共に、一人暮らし高齢者宅を訪問し、火の元点検及び住宅用火災警報器の点検を行い、世帯に計14個の住宅用火災警報器を新たに設置しました。

一日消防署長挙命

「初めての一日消防署長」

佐藤 麟太郎

4月3日(木)小千谷市立東小千谷小学校六年生2名が一日消防署長に任命されました。宮川会長と防火チラシ等を配布し火災予防の普及啓発を図りました。

● 辞令交付の様子



火事や災害の時にみんなのことを助けてくれるかつていい消防士。担任の先生から「一日消防署長体験」の話があったとき、やつてみたいと思い、手を挙げました。自分がやることに決まり、その日が来るのがとても楽しみでした。

当日、学校に迎えに来た消防士さんは制服を着て、きびきびと動いていて、とてもかっこよかったです。消防士さんから敬礼の仕方を教えてもらいました。一番心に残ったことは、はしご車に乗って高いところまで上がったことです。はしご車は想像より大きく、高くまで上りました。消防士さんは怖くないのだろうか、すごく勇気がありました。（原文のまま引用）

「一日消防署長体験」を通して、消防士の仕事に興味をもちました。消防士はぼくが将来やつてみたい仕事の一つです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。（原文のまま引用）

● はしご車試乗体験の様子



● 防火チラシ等の配布の様子



一日消防署長の佐藤麟太郎さん

「一日消防署長体験」

田中 優史

春休みに一日消防署長体験をしました。心に残ったことを紹介します。

小千谷消防署に着き、最初に任命式がありました。小千谷消防署長から「一日消防署長をお願いします」と任命され、うれしい気持ちでいっぱいでした。次に、消防車に乗って地域を回りました。消防車の中にはサイレンのボタンや酸素ボンベがありました。消防士が実際に使っているものを見ることができてワクワクしました。地域回りから戻り、通信指令室を見学しました。どのように指令が出されているかがよく分かりました。その後、はしご車に乗り、高いところまで上がり、足が震えるほど怖かったです。ホントカ。でチラシ配りをしたときに地域の方から「かっこいいね」「がんばってね」と声掛けられ、とてもうれしかったです。

一日消防署長の体験を通して、消防士の仕事の様子や大変さがよく分かりました。これから生活する中で、火事や、事故には十分に気を付けようと思いました。（原文のまま引用）



●通信指令室見学の様子



一日消防署長の田中優史さん

●はしご車試乗体験の様子



●防火査察の様子

わくわく消防教室

秋の火災予防運動に併せ、10月20日（月）、21日（火）に小千谷市幼少年防火委員会主催の「わくわく消防教室」が開催されました。

今年度は、学校法人舟陵学園小千谷幼稚園、小千谷市立片貝保育園、小千谷市立南保育園（3施設とも当協会加入事業所）を訪問し、消防車両展示、起震車体験、濃煙体験、防災ダッククイズを実施し、防災の大切さを伝えました。園児の皆さんには、真剣な表情で消防職員の話をじつと聞いていたそうです。

いつ発生するか分からぬ大災害に備え、幼少期から防災について学ぶことはとても重要なことです。

当協会も本事業に協賛し、のぼり旗を掲げました。



● 消防車両展示の様子



● 濃煙体験の様子



● 起震車体験の様子



● 防災ダッククイズの様子



普通救命講習羽白



6月2日(月)、9月29日(月)に普通救命講習が開催されました。第1回目は18事業所から36名、第2回目は15事業所から32名の方が受講し、救命に必要な知識と技術を習得しました。

普通救命講習は、2年ごとの受講を推奨しています。また、救急講習は事業所での開催も可能です。希望される事業所は、当協会事務局までお問い合わせください。

なお、第3回目は定員40名で1月30日(金)にサンラックおぢやで開催予定です。

甲種防火管理新規講習

7月10日(木)と11日(金)の2日間、「サンラックおぢや」において、甲種防火管理新規講習を実施し、53名(当協会加入事業所22名)の方から受講していただきました。

近年では、工場や福祉施設、雑居ビル等で多くの死傷者を伴う火災が発生しています。被害を拡大させる要因の一つが防火管理体制の不備と言われています。

新たに資格を取得された皆様には、これからそれぞれの事業所において、防火管理者として、適切な防火管理業務の遂行に努めていただきますようお願いします。

また、講習等で得られた知識を現場に還元し、火災による人的・物的被害を未然に防止することができるよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

大規模な特定防火対象物等の防火管理者は、消防法令の改正等を把握し、防火管理業務を適切に実施するために必要な知識の更新が必要とされ、5年ごとに再講習の受講が義務付けられています。

防火イラスト・書道展

小千谷市幼少年防火委員会の保育園、幼稚園、小学校から、防火イラスト・書道合わせて194点の作品の応募がありました。秋の火災予防運動期間に併せて、サンプラザ様にご協力をいただき、作品を展示了しました。

今年も子どもたちならではの視点や発想が多く見られ、力強い書や色鮮やかなイラストを通じて防火意識の向上に繋がる内容となりました。



設立60周年記念式典・祝賀会

令和7年11月14日(金)に小千谷市総合産業会館サンプラザにて設立60周年記念式典・祝賀会を開催しました。式典では会長あいさつ、沿革紹介、来賓祝辞が行われ、本協会から小千谷市へ車いすの贈呈が行われました。贈呈した車いすは令和8年6月開設予定のスポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」に設置され、来訪者の利便性向上に活用される予定です。



式典に続き記念講演が行われ、防災システム研究所所長山村武彦氏より「事業所における防火・防災管理」をテーマに講演していただきました。実務に即した内容であり、参加者にとって防火・防災管理を見直す有意義な機会となりました。



講演終了後は祝賀会が催され、関係者の交流と親睦が深まりました。今後も当協会は地域防災の更なる充実と発展に努めてまいります。

最新消防車両紹介



令和7年12月1日から運用を開始した高規格救急自動車は、救急救命士などが様々な処置を効率的に行えるよう広い室内空間を有するとともに、最新の電動ストレッチャーを装備しています。電動化により収容時の持ち上げ作業が不要となるため、従来のストレッチャーより円滑な搬送が可能となります。年々増加する救急出動事案に対応する最先端の高度救命処置用資機材を積載し、より一層の救命率の向上を目指しています。



会報 防火管理 第92号
発行日 令和8年1月1日
編集 小千谷地域防火管理協会 事務局
小千谷市城内3丁目1番9号
小千谷市消防本部予防課内
TEL (0258)-83-0238 (直通)
FAX (0258)-82-0209
E-Mail syobou-yobou@city.ojiya.niigata.jp